

報告事項

(1) 母子保健課より

- 乳幼児健診事業について
- 障害者(児)歯科保健事業について
- 地域歯科保健推進研修会について

乳幼児健診事業について

1. 事業概要

乳児健診（10か月児健診）においては歯科保健指導を実施し、幼児健診（1歳9か月児、2歳6か月児、3歳6か月児健診）においては、歯科健診・歯科保健指導・フッ化物塗布を実施している。

2. 受診状況

図表1

10か月児健診	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者(人)	2,603	2,699	2,467	2,642	2,351
受診者(人)	2,347	2,413	2,299	2,441	2,371
受診率(%)	90.2	89.4	93.2	99.1	100.9※1

1歳9か月児健診	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者(人)	2,182	3,066	3,101※2	2,488	2,509
歯科健診受診者(人)	1,787	2,736	2,652	2,332	2,335
受診率(%)	81.9	89.2	85.5	93.7	93.1
フッ化物塗布希望者(人)	1,700	2,584	2,503	2,125	2,243
フッ化物塗布率(%)	95.1	94.4	94.4	91.1	96.1※3

2歳6か月児健診	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者(人)	1,302	3,018	4,040※2	2,568	2,530
歯科健診受診者(人)	1,224	2,643	3,285	2,328	2,341
受診率(%)	94.0	87.6	81.3	90.7	92.5
フッ化物塗布希望者(人)	1,139	2,460	2,995	2,066	2,182
フッ化物塗布率(%)	93.1	93.1	91.2	88.7	93.2※3

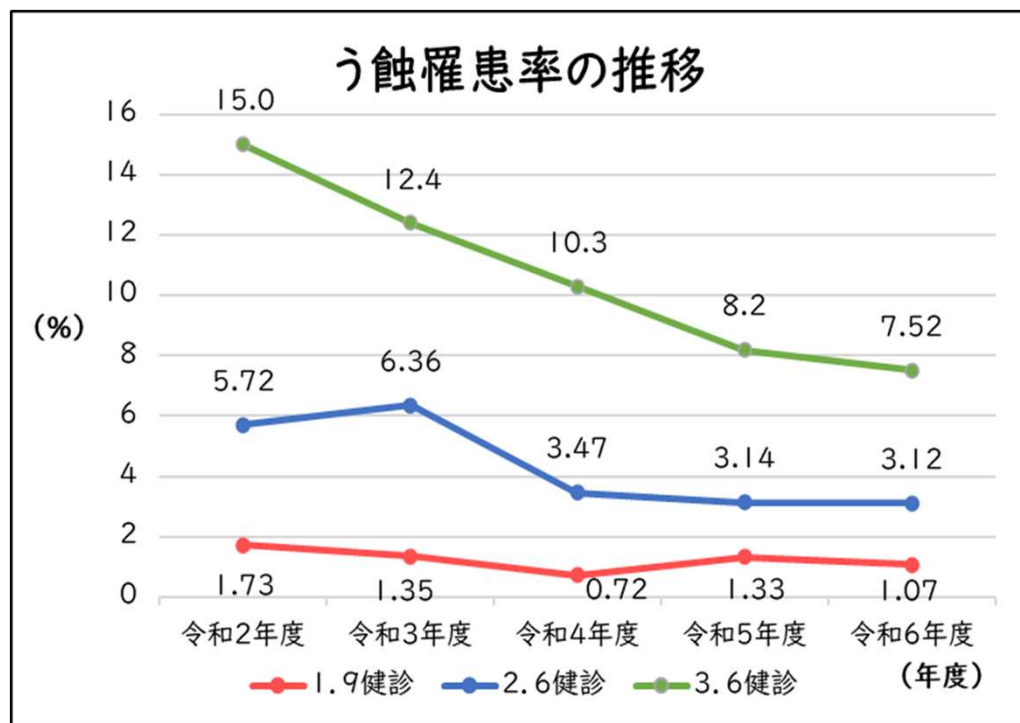
3歳6か月児健診	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者(人)	2,438	2,920	2,874	3,540※2	2,610
歯科健診受診者(人)	1,802	2,577	2,575	3,256	2,473
受診率(%)	73.9	88.3	89.6	92.0	94.8
フッ化物塗布希望者(人)	1,674	2,370	2,259	2,746	2,264
フッ化物塗布率(%)	92.9	92.0	87.7	84.3	91.5※3

※1 10か月児健診は、満10か月児から1歳6か月児まで受診可能であり、未受診者対応等により、令和6年度の受診率が100%を超えた結果となった。

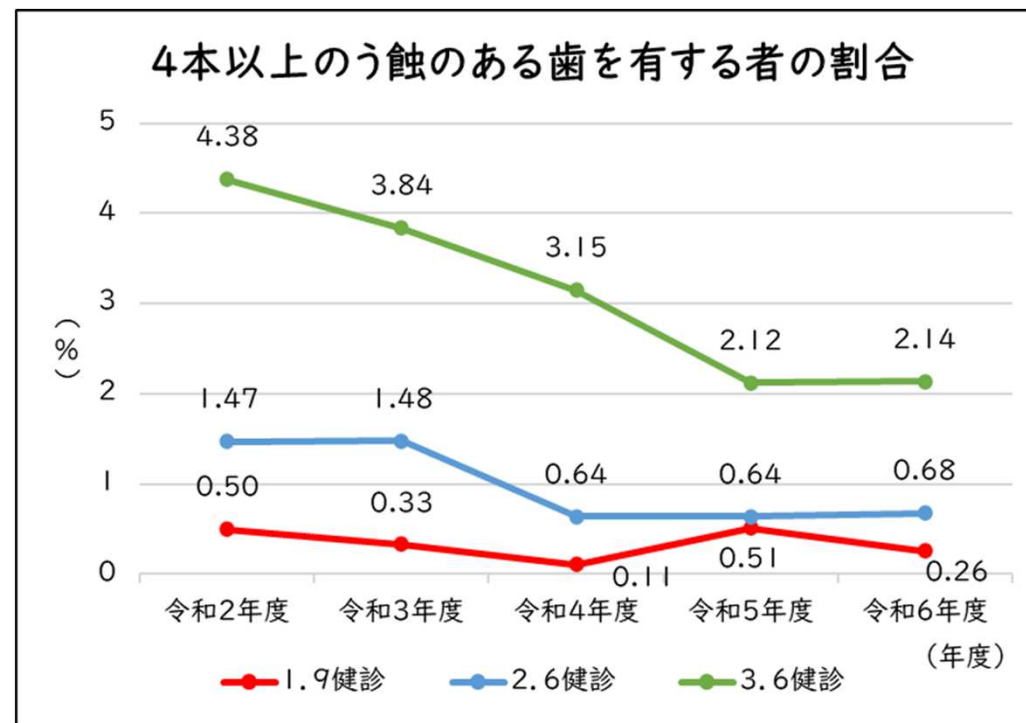
※2 新型コロナウイルスの影響で、令和2年3月から5月まで健診を中止したため、令和4年度から令和5年度までは健診回数を増やして実施した。

※3 令和6年度からフッ化物塗布にかかる手数料400円を無料とした。

図表2



図表3



※健康おおつ21(第3次)の達成目標:3歳児で4本以上のう蝕のある歯を有する者の割合0%

3. 令和7年度実施状況

個別・集団指導や丁寧な主訴対応、フッ化物塗布を実施することで継続的な歯科保健管理の意識向上につながっている。引き続き、歯科保健推進に向けて取り組んでいく。

障害者（児）歯科保健事業について

Ⅰ. 障害児巡回歯科保健指導

①事業概要

地域療育教室通園児に対し、歯科健診および歯科保健指導、歯科講話を実施する。

1回目：歯科保健指導（5月～7月）

2回目：歯科健診、歯科保健指導（9月～11月）

3回目：保護者向け歯科講話（1月～2月）

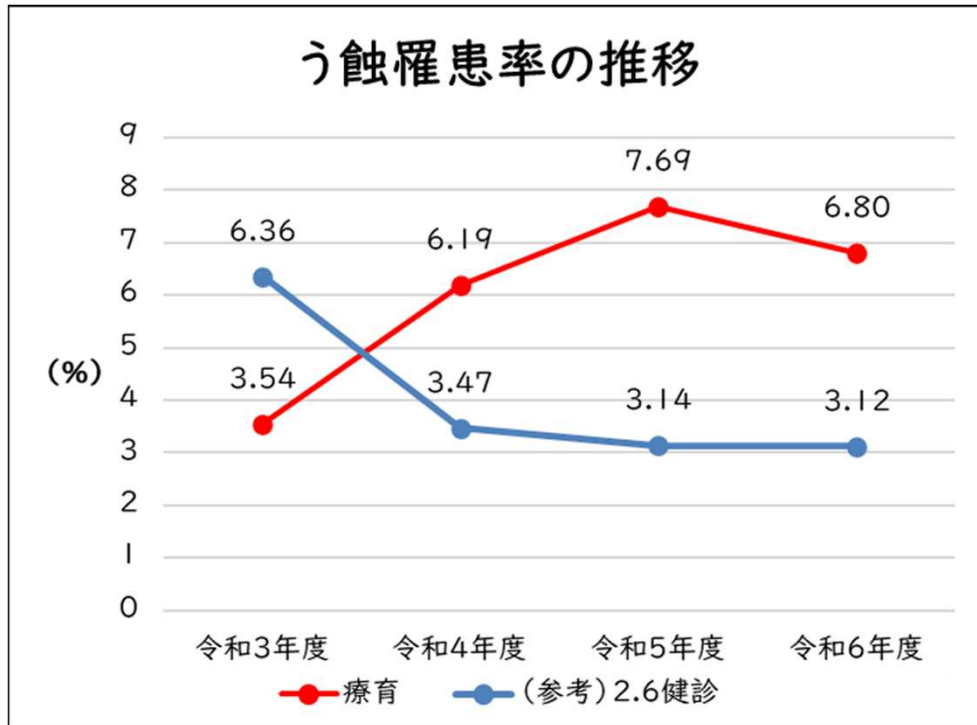
②令和6年度実施状況

図表4

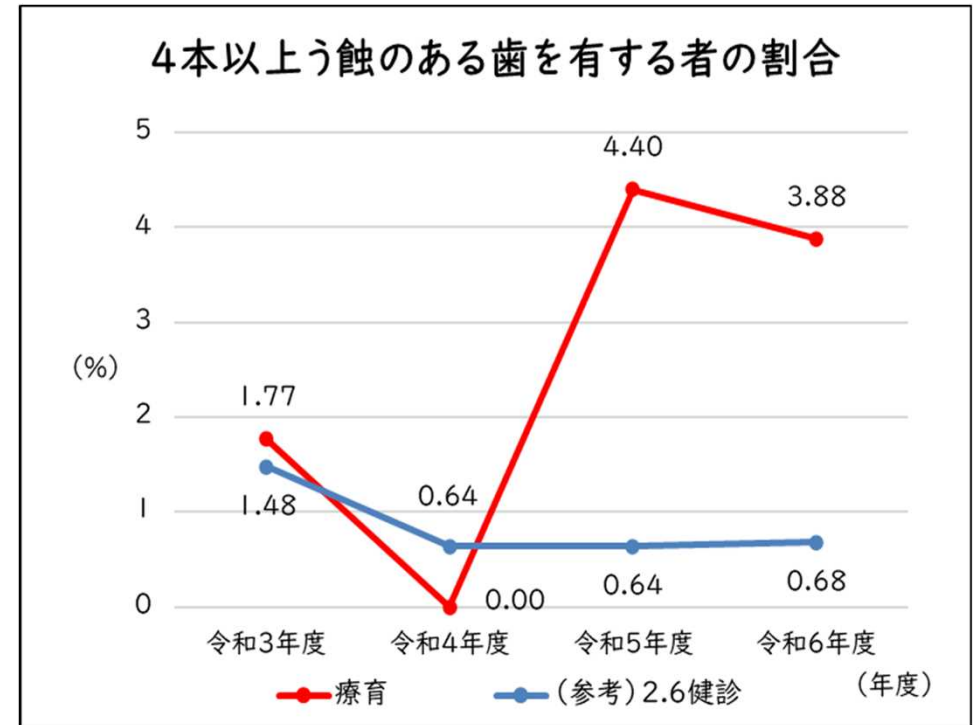
施設名	歯科健診			1回目：歯科保健指導			2回目：歯科保健指導		
	対象者 （人）	受診者 （人）	受診率 （%）	対象者 （人）	受診者 （人）	受診率 （%）	対象者 （人）	受診者 （人）	受診率 （%）
やまびこ子ども療育センター	46	41	89.1	43	41	95.3	46	46	100
北部子ども療育センター	30	23	76.7	30	28	93.3	33	33	100
東部子ども療育センター	40	39	97.5	36	30	83.3	40	39	97.5
全体	116	103	88.8	109	99	90.8	119	118	99.2

- 全体の受診率は、歯科健診、歯科保健指導とも8割から9割となっている。

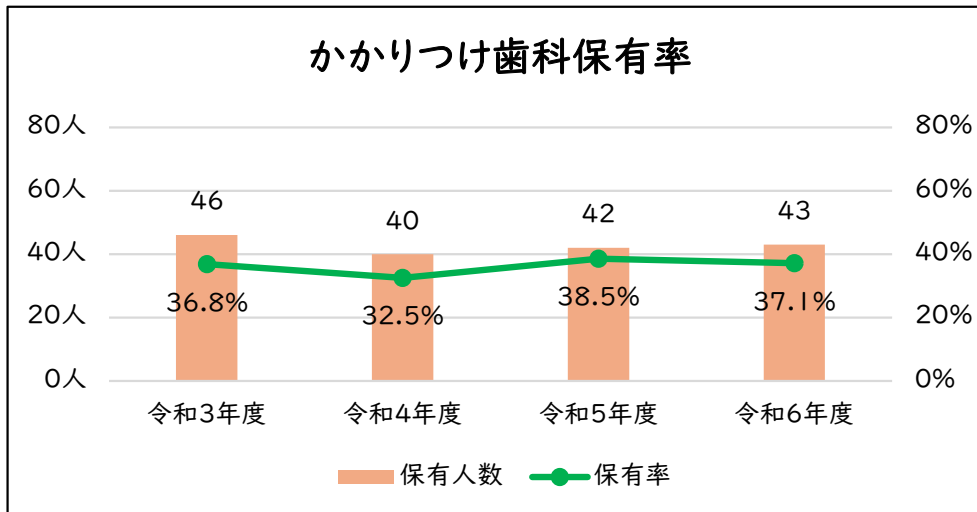
図表5



図表6



図表7



※滋賀県歯科保健計画の達成目標:かかりつけ歯科医を持っている者の割合50%(地域療育教室通所児)

【保護者向け講話参加者】 参加人数 44名

講話の感想（アンケートから抜粋）

- 今まで正しいと思っていた知識が実は違うということもあり、とても参考になった。
- 痛くなってから歯医者に行くものと思っていたが、むし歯をつくらないために行ったほうがいいと知った。
- ジュースにたくさん砂糖が入っていることは知っていたけど、改めてスティックシュガー何本分と見ると、たくさん飲ませてはダメだなという意識をもてた。
- 食事やお菓子もだらだら食べることに気を付けながら、歯の健康を守っていきたい。
- 2+2+2+2テクニックは初めて聞いた。今日から実行していこうと思う。

③令和7年度実施状況

5月～6月にかけて1回目の歯科指導を実施した。9月以降の歯科指導、歯科健診、歯科講話においても予定どおり実施していく。子どもの特性から、仕上げ磨きや歯科受診に悩んでいる保護者が多いため、今後も一人ひとりの主訴に丁寧に対応していく。

2. 障害児受診支援のための歯科医院リストの作成

①事業概要

障害児が歯科保健医療サービスをその生活圏内で安心して受けることができるための体制整備を目的に、大津市歯科医師会と連携し、歯科医院リストを作成のうえ、周知している。

②登録医療機関数

令和6年度 48医療機関

令和7年度 46医療機関

3. 障害者（児）歯科研修会

①事業概要

障害者（児）が地域の身近な歯科医療機関で安心して受診できる体制づくりを推進するために、歯科医療従事者を対象とした研修会を開催する。

②令和6年度実施状況

開催日	令和6年10月24日（木）
場 所	明日都浜大津1階大会議室およびオンライン
参加者	46名（会場27名、オンライン19名）
演 題	地域の歯科医院が行う障害児（者）歯科診療～斉木流アプローチ～
講 師	斉木 薫 先生（山梨県甲府市歯科医師会 斉木歯科医院 院長）

③令和7年度実施予定

開催日	令和7年10月23日（木）（予定）
場 所	明日都浜大津4階ふれあいプラザホール
演 題	一次診療での障がい者歯科診療～私の行っている障がい者歯科～
講 師	松村 康平 先生（大阪府八尾市歯科医師会 松村デンタルクリニック 院長）

地域歯科保健推進研修会について

1. 事業概要

歯科保健に必要な知識を普及・啓発するため、市民を対象に年1回開催している。

2. 令和6年度実施状況

対象者	乳幼児を子育て中の市民
開催日	令和6年9月11日(水)
内 容	子どものむし歯予防、保護者の歯周病予防
場 所	明日都浜大津3階 乳幼児健診室
講 師	伊東 誉晃 先生(大津市伊東歯科医院 院長)
参加者	41名(大人22名、子ども19名)

3. 令和7年度実施状況

対象者	乳幼児を子育て中の市民
開催日	令和7年9月10日(水)
内 容	子どものむし歯予防、保護者の歯周病予防
場 所	明日都浜大津3階 乳幼児健診室
講 師	伊東 誉晃 先生(大津市伊東歯科医院 院長)

報告事項

(2) 健康推進課より

- 歯周病検診事業について
- 特定健康診査結果お返し会での歯科保健指導について
- 歯科健康教育について
- フッ化物洗口事業について

歯周病検診事業について

1. 事業概要

検診をきっかけにかかりつけ歯科を持ち、生涯にわたって歯・口腔の健康を保つために、歯周病の予防・早期発見・早期治療を推進し、口腔保健意識の向上を図ることを目的に実施している。

2. 受診状況

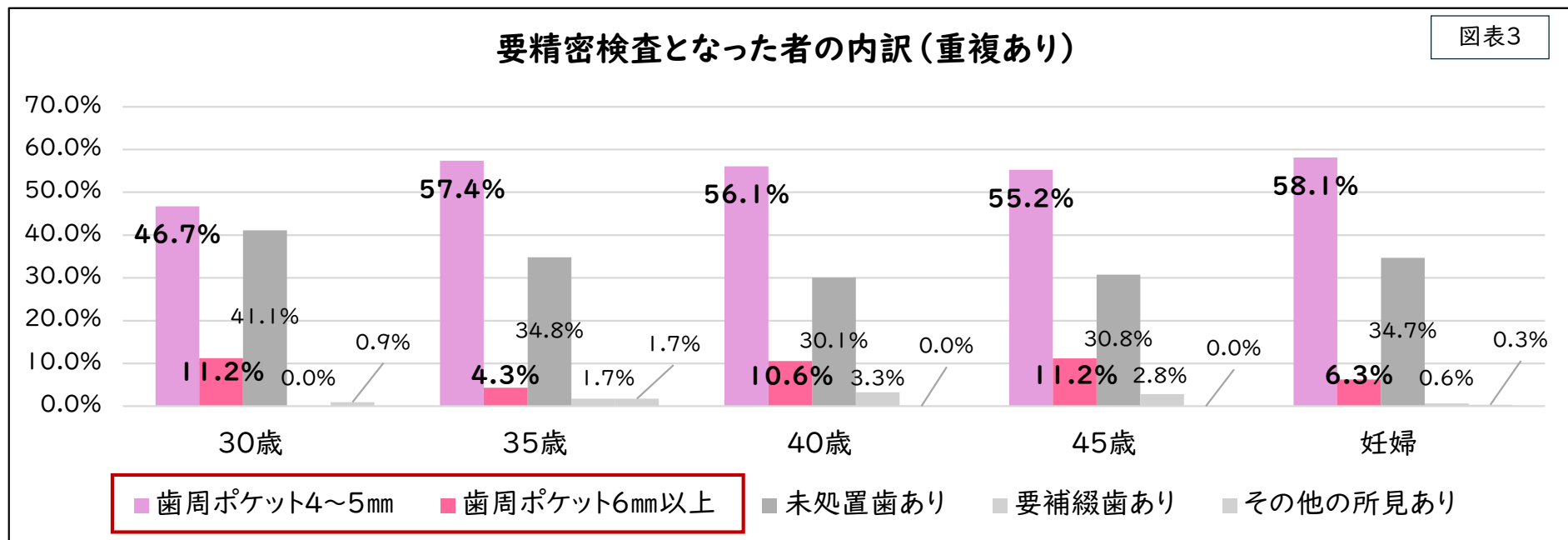
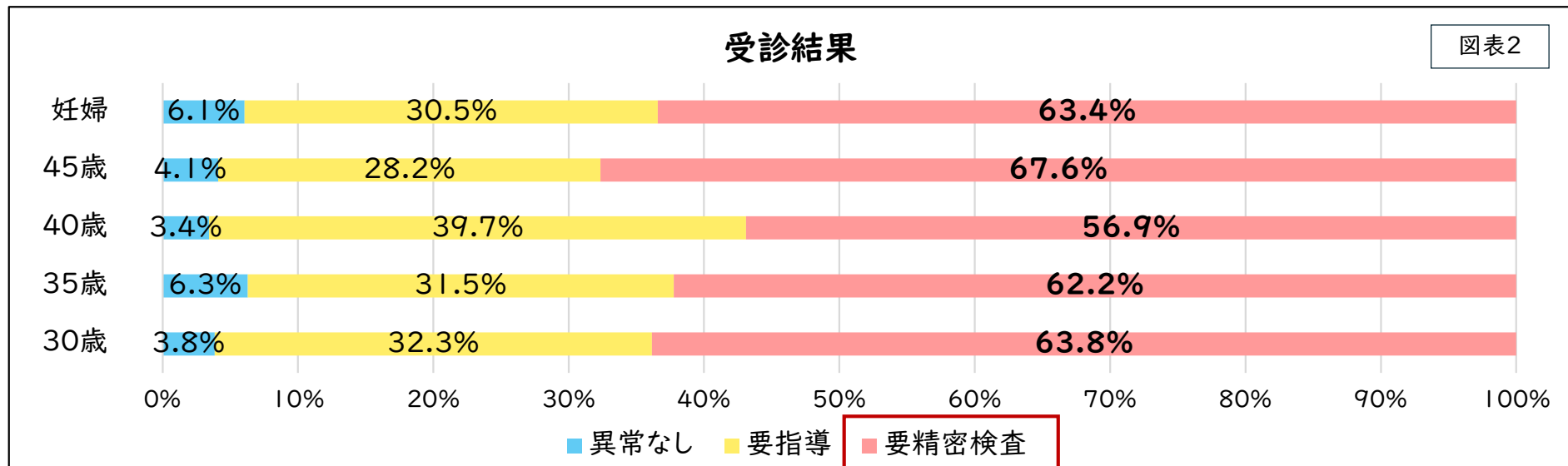
図表1

	30歳	35歳	40歳	45歳	妊婦	合計(人)	受診率
R1	158	158	157	90	511	1,074	5.3%
R2	166	145	155	97	501	1,064	5.5%
R3	174	149	143	131	517	1,114	6.0%
R4	166	144	186	107	560	1,163	6.4%
R5	122	114	144	102	698	1,180	6.5%
R6	130	143	174	170	809	1,426	8.1%

※令和5年度より妊婦の自己負担金を無料化した

- ・ 受診人数及び受診率については、年々増加傾向にある。
- ・ 妊婦については、自己負担金無料化後の令和5年度、令和6年度においては特に受診人数の増加の伸びが大きくなった。

3. 令和6年度受診結果



- ・ 受診結果について、各区分とも約6割が要精密検査となっている。
- ・ 要精密検査となった者の内訳は、半数以上が歯周病の疑い(歯周ポケット4mm以上)となっている。

4. 令和7年度実施状況

今年度より、若年からの歯周病予防のさらなる推進のため、対象者に25歳を追加し実施している。
(25歳の自己負担金は無料)

【4月～7月までの受診人数】

図表4

年度	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	妊婦	合計(人)	受診率
R3	-	81	65	82	72	198	498	2.7%
R4	-	88	67	92	57	194	498	2.8%
R5	-	61	51	67	47	250	476	2.6%
R6	-	57	68	85	71	283	564	3.2%
R7	49	43	72	87	61	292	604	

- 令和7年4月～7月までの受診状況については、25歳が追加されたことを受け、合計の受診人数も増加している。

特定健康診査結果お返し会での歯科保健指導について

1. 事業概要

歯・口腔の健康保持・増進が、全身の健康状態に影響することから、就労世代に対し歯周病リスク検査を実施し、歯周病と全身疾患との関連性や、セルフケア及び定期歯科検診の重要性について周知・啓発を行い、口腔健康管理の意識の向上等を図る。

2. 令和6年度実施状況

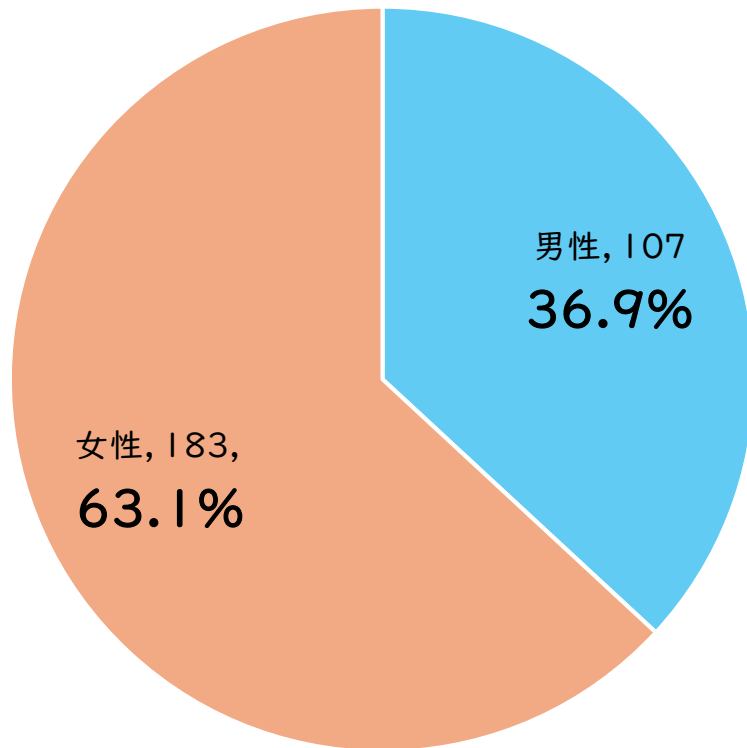
厚生労働省が実施する実証事業（就労世代の歯科健康診査推進事業）に参加した。

対象者	大津市国民健康保険被保険者で、集団特定健康診査の結果お返し会に参加した者（40歳～74歳）
実施内容	唾液検査用試験紙（LDH test NAGATA）を用いて歯周病リスク検査および歯科保健指導を実施
実施期間	令和6年9月～12月（計10日間）
実施人数	集団特定健康診査の結果お返し会参加者（447名）のうち、290名に歯科保健指導を実施した。

実証事業参加者の性別

図表5

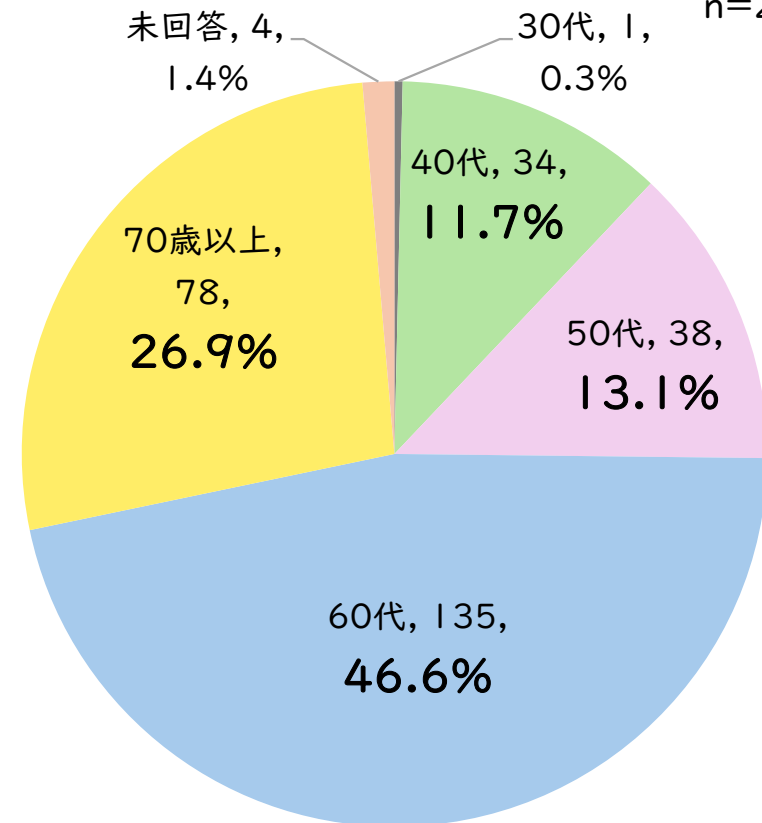
n=290



実証事業参加者の年齢構成

図表6

n=290

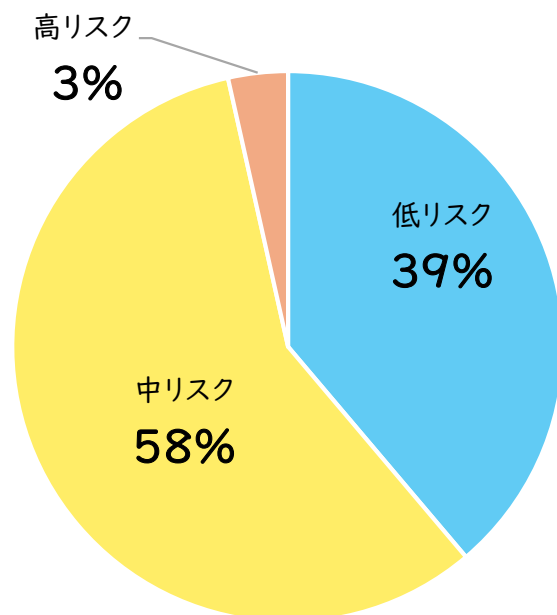


※年度内の誕生日を迎える前の受診者が含まれており30歳代(39歳)が含まれている

- 参加者の性別は、女性が約6割であった。
- 参加者の年齢構成は、60歳代が最も多く、次いで70歳代が多かった。

歯周病リスク検査の結果

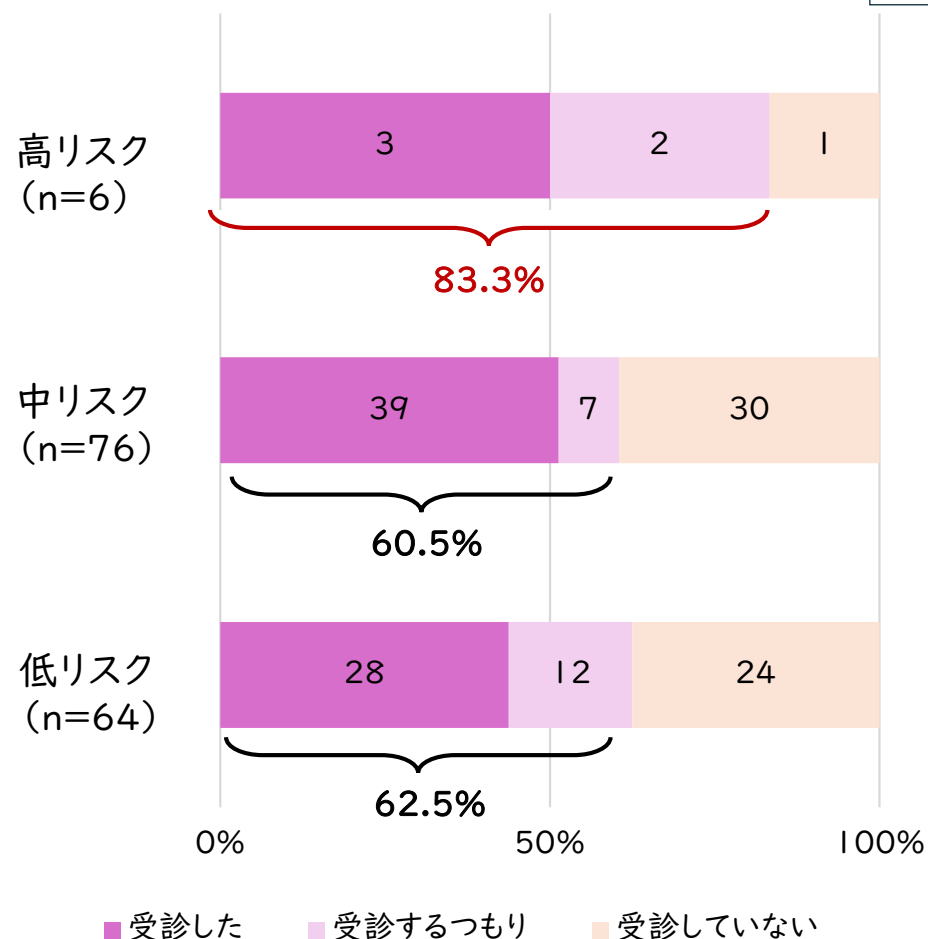
図表7



LDHtest NAGATAの下記判定でリスクを分類した
3以下:低リスク、4~7:中リスク、8以上:高リスク

歯周病リスク検査の結果別、実施後の歯科受診状況

図表8



- 歯周病リスク検査の結果「高リスク」であった参加者のうち、事後アンケートに回答した80%以上の者が実施後に歯科医療機関を「受診した」または「受診するつもり」と回答した。

セルフケア（歯みがき以外のケア用品の使用）

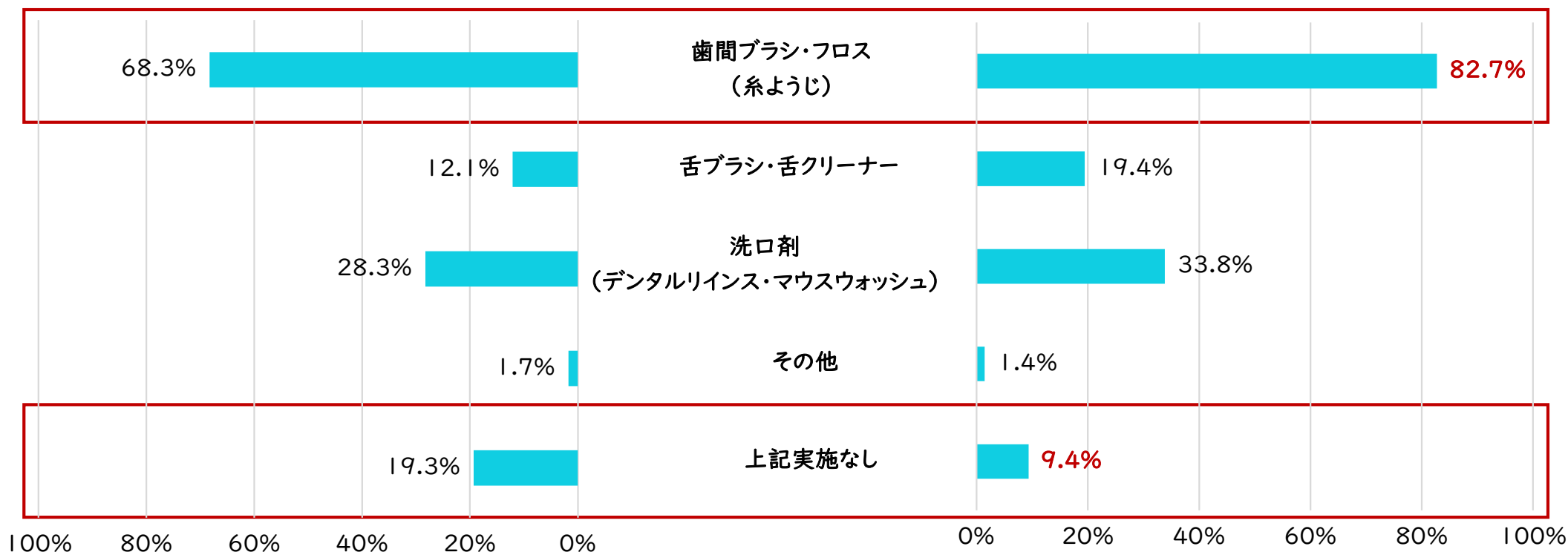
図表9

歯周病リスク検査及び歯科保健指導
実施前

n=290

歯周病リスク検査及び歯科保健指導
実施後

n=139



- セルフケアの実施状況は、歯間ブラシ・フロスの使用が68.3%から82.7%に上昇（14.4ポイント）した。
- 何も実施していない割合は19.3%から9.4%に低下（9.9ポイント）した。

【実証事業を通しての成果】

①参加者の歯・口腔の健康に関する意識等

- ・歯周病リスク検査の結果を踏まえ、歯科保健指導を個別に実施したことで、セルフケアへの意識付けとなり、行動変容が見られた。
- ・参加者の中には、定期的に歯科受診はしているものの、セルフケアへの関心が低い者や、口腔ケア用品の使用方法について十分理解していない者もいたため、対面で行う歯科保健指導は効果的である。

②既存事業と同時実施の利点

- ・参加者の利便性を高め参加率の向上が期待できる。
- ・歯科疾患に関連のある事業と合わせて実施することにより、一層の啓発効果が期待できる。

3. 令和7年度実施状況

昨年度の実証事業の成果を踏まえ、今年度より、集団特定健康診査の結果お返し会全日程で、歯周病リスク検査及び歯科保健指導を実施する。

対象者	大津市国民健康保険被保険者で、集団特定健康診査の結果お返し会に参加した者（40歳～74歳）
実施内容	唾液検査用試験紙（LDH test NAGATA）を用いて歯周病リスク検査および歯科保健指導を実施
実施期間	令和7年9月～令和8年2月 （12月までで計15日間実施、1月～2月に追加実施も予定）

歯科健康教育について

1. 事業概要

子育て教室や自治会・高齢者サロン等、地域からの依頼により実施している。

2. 実施状況

図表10

区分		R2	R3	R4	R5	R6	R7
母子	実施回数(回)	1	0	1	1	6	3
	参加人数(人)	7	0	10	18	135	57
成人 高齢者	実施回数(回)	1	1	3	8	9	7
	参加人数(人)	10	17	23	116	152	154

※令和7年度は7月末現在の数値

- 令和6年度に、歯科健康教育のチラシを作成し、市ホームページへの掲載及び各すこやか相談所への周知を行ったところ、依頼件数が増加した。
- 母子を対象とした内容においては、子どものむし歯予防だけでなく、保護者に向けた歯周病予防に関する話も組み込むなど、内容を工夫している。

フッ化物洗口事業について

1.事業概要

フッ化物洗口は、むし歯予防に効果的で、安全かつ簡単に実施できるうえ、地域の子どもたち全体を対象として実施することでむし歯重症児を未然に防ぐことが可能なむし歯予防法であることから、子どもたちの歯と口腔の健康づくりの推進に向け、幼児期から学齢期におけるフッ化物洗口を実施する。

2.小学校での実施状況（学校教育課）

【令和6年度】

対象者	石山小学校第3学年、第2学年、第1学年のうち保護者が希望する者
実施期間	学年により実施期間をずらして実施（第3学年は、2学期から実施）
実施方法	週一回法 第3学年：学校一斉実施 第2学年：家庭持ち帰り実施を経て学校実施 第1学年：家庭持ち帰り実施
使用薬剤	オラブリス洗口液0.2%（ポーショントype及びボトルtype）
実施人数	第3学年：55人（実施率73%） 第2学年：68人（実施率88%） 第1学年：50人（実施率76%）

- 令和5年度に引き続き、教職員・保護者への説明を大津市歯科医師会及び大津市教育委員会で実施し、保護者が希望された児童を対象に実施した。
- 第1学年から第3学年まで段階的に実施することで、教職員の経験や学校の体制づくりができたが、今後も安全な方法を検討する。

【令和7年度】

対象者	石山小学校第4学年、第3学年、第2学年、第1学年の保護者が希望する者
実施期間	学年により実施時期をずらして実施（第4学年と第3学年は1学期から実施）
実施方法	週一回法 第4学年：学年一斉実施 第3学年：学年一斉実施 第2学年：少人数実施を経て学年一斉実施 第1学年：持ち帰り実施、少人数実施を経て学年一斉実施
使用薬剤	オラブリス洗口液0.2%（ポーションタイプ及びボトルタイプ）
事業評価	実施方法等、事後アンケート実施予定

3. 保育園・幼稚園での実施状況（幼保支援課）

【令和6年度】

対象者	大平保育園、石山幼稚園の5歳児クラス園児のうち保護者が希望する者
実施期間	令和7年1月～2月（全5回）
実施方法	家庭持ち帰り実施
使用薬剤	オラブリス洗口液0.2%（ポーションタイプ）
実施人数	大平保育園：15人（実施率75%） 石山幼稚園：11人（実施率85%）

- ・ 職員・保護者への説明を大津市歯科医師会及び幼保支援課で実施し、希望者への家庭持ち帰り実施ができた。
- ・ 実施後アンケートより保護者のフッ化物洗口の認知度が低いことが判明したため、今後、フッ化物洗口の啓発チラシを4歳児の保護者にも配布するとともに、5歳児への持ち帰り実施を継続していく。

【令和7年度】

対象者	大平保育園、石山幼稚園の5歳児クラス園児のうち保護者が希望する者
実施期間	令和8年1月～2月（全5回）
実施方法	5歳児希望者への家庭持ち帰り実施と4歳児へ啓発チラシの配布
使用薬剤	オラブリス洗口液0.2%（ポーションタイプ）
事業評価	保護者アンケートの実施

報告事項

(3) 長寿福祉課より

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について
- フレイル予防事業について

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

1. 事業概要

大津市では、医療保険者である後期高齢者医療広域連合より受託して、令和3年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に取り組んでいる。これは、令和2年度から75歳以上の高齢者に対する保健事業について、市町村が介護保険の地域支援事業等と一体的に実施することができるよう法改正されたことによるものである。個人差の大きい高齢期に、一人一人にあった支援を行うため、国保データベース（KDB）システムに登録された健診データや後期高齢者の質問票、レセプト（医療・介護）情報などから、高齢者の健康状態を把握し、保健事業を実施する。

①ポピュレーションアプローチ：健康いきいき講座、リハビリテーションセラピスト出前講座

高齢者の通いの場（サロン等）に講師・セラピストを派遣する健康いきいき講座・リハビリテーションセラピスト出前講座に、それぞれ口腔機能メニューを含んでいる。

また、講座では後期高齢者の質問票により参加者の健康状態を把握し、口腔機能の低下が疑われる方へ後日電話にて歯科衛生士や保健師等が健康相談、保健指導を実施している。

【実施状況】

図表1

年度	健康いきいき講座		リハビリテーションセラピスト出前講座	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
R3	27(8)	392(119)	20(5)	316(83)
R4	28(6)	436(60)	24(5)	473(77)
R5	54(7)	1,008(103)	50(8)	824(122)
R6	70(8)	1,143(122)	43(10)	841(169)

※質問票からの保健指導実施状況

図表2

年度	ハイリスク者	保健指導実施	プログラム参加
R4	102	64	13
R5	527	318	38
R6	192	143	6

※（ ）は口腔機能メニューの数

②ハイリスクアプローチ：口腔機能低下予防事業

口腔機能が低下している者に歯科衛生士等が訪問して、オーラルフレイルやその他健康に関する問題を把握することで、その高齢者の心身の状態に応じた支援を行い、口腔機能の状態を改善、維持を図ることを目的としている。

対象者	市内に居住地を有する75歳以上の者であって、下記に該当する者 ・ 令和5年度後期高齢者歯科健康診査（76歳、81歳）を受診した者で、健診結果が要指導・要治療・要検査に該当したが、健診後に受診歴のない者 ・ 通いの場で把握したハイリスク者 ・ 令和6年度後期高齢者健康診査を受診した者で、質問票（咀嚼機能、嚥下機能）いずれかに該当、かつレセプト情報で過去1年間歯科受診のない者
事業内容	・ 対象者に対し個別指導を実施する ・ 対象者のうち希望者に、口腔機能低下予防プログラムを実施する。（1クール3～6か月間、月1回、歯科衛生士や言語聴覚士による電話や訪問による指導）

【実施状況】

図表3

年度	保健指導実施人数	口腔機能低下予防プログラム参加人数
R3	107	18
R4	149	33
R5	380	52
R6	178	13

2. 令和7年度実施状況

後期高齢者健康診査受診者で口腔機能低下予防事業の対象となる方に対して、オーラルフレイルチェック表を送付し、その返信がない方には、訪問で状況を聞き取り、保健指導を行っていく。

フレイル予防事業について

1. 事業概要及び内容

高齢期に入る65歳の早期段階からのフレイル予防、健康な生活を送る意識付けを目的として、介護予防のパンフレットと併せて市で実施している一般介護予防事業の周知を行う。

また、無料体験クーポンの配布を行い、「フィットネスジム等の運動体験」、「歯科口腔チェック」、「栄養講座とバランスのとれた食事の試食」、「はり・きゅう・あん摩マッサージ」の4項目のメニューの中から1つを選択し、体験を行うもの。

【実施状況】

図表4

年度	利用者 (人)	対象者 (人)	利用率 (%)	内訳(人)				
				運動	歯科・口腔 チェック	栄養	はり・きゅう・あん摩 マッサージ	ミールキット
R4	360	3,925	9.2	78	68	56	158	-
R5	499	3,921	12.7	86	55	28	108	222
R6	344	4,205	8.2	103	62	61	118	-

※歯科・口腔チェック受診状況

図表5

年度	異常なし	要指導	要精密検査	不明
R4	22	10	35	1
R5	18	5	32	-
R6	19	7	36	-

2. 令和7年度実施状況

今年度は、新たなメニュー「健康セミナー（身体のゆがみ&声による認知機能の測定会付）」を加えた、5項目のメニューで、対象年齢を70歳にして、実施予定。